

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
経済学部	経済学科	夜・通信	8	6		14	13		
	経営学科	夜・通信				14	13		
社会学部	社会学科	夜・通信				5	13	13	
	国際観光学科	夜・通信				6	14	13	
流通情報学部	流通情報学科	夜・通信				6	14	13	
法学部	ビジネス法学科	夜・通信			6		14	13	
	自治行政学科	夜・通信					14	13	
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	夜・通信			4		2	14	13
	スポーツコミュニケーション学科	夜・通信				2	14	13	
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.rku.ac.jp/about/data/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職)団体役員	2022. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2021. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2021. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
非常勤	(現職)会社役員	2021. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
非常勤	(前職)他大学教授	2021. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
非常勤	(現職)公認会計士	2021. 6. 1 ～ 2023. 5. 31	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)の作成について、教員に1月末から2月末までインターネットを利用して、シラバス入稿を依頼している。</p> <p>また、授業計画(シラバス)の公開は、学生の履修登録前の3月中旬に実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページ https://www.rku.ac.jp/faculty/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>試験の結果やレポートの内容などに基づいて、各学生の学修成果を判定している。</p> <p>また、学修成果に基づき、成績[合格 S(90点以上)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、不合格 D(59点以下)、/(評価不能)]を判定している。</p> <p>シラバスに記載した「成績評価の方法」により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなる。

成績評価に対するグレードポイントは下記の通りです。

評価	S	A	B	C	D	/	R
グレードポイント	4	3	2	1	0	0	適用除外

GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証について具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的として実施している。

各学部とも同様の取扱いをしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ

https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf

の各学部 2022 年度入学生

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部学科のディプロマポリシーは、下記の通りです。

なお、全学部全学科とも、4年以上在学し、卒業判定で卒業に必要な所定の単位(124単位以上)を修得した学生は、卒業となる。

経済学部経済学科

経済学科は、学部の教育目的の下、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経済学)の学位を授与する。

1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度
2. 自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度
3. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

経済学部経営学科

経営学科は、学部の教育目的の下、産業がグローバル化する時代に通用する「起業およびマネジメントの実践ができる人材」を育成することを目指しており、学修計画と履修モデルにもとづき、所定の単位を修得し、以下のようなビジネスマネージャーに求められることになる知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経営学)の学位を授与する。

1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる。
2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる。
3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる。
4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める。
5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる。
6. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、および国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力を有する。

社会学部社会学科

社会学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(社会学)の学位を授与する。

1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢(実学主義)
2. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力(教養教育)、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力(キャリア教育)
4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能(実践主義)
5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢(少人数教育)

社会学部国際観光学科

国際観光学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識、能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に観光を理解する態度
2. 社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識
4. 観光および観光関連産業の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動する態度
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

流通情報学部流通情報学科

流通情報学科では、学部の教育目的の下、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与する。

1. 流通・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能
2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力
3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力
4. 様々な分野で創造性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

法学部ビジネス法学科

ビジネス法学科は、学部の教育目的の下、企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）の現代的意義を深く理解し、実社会で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識
3. グローバル時代に対応した法知識と能力
4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

法学部自治行政学科

自治行政学科は、学部の教育目的の下、公務員・NPO職員等として公共の一翼を担うことのできる人材、および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識
2. 公務員・NPO職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力

3. 修得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力
4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科は、学部の教育目的の下、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。

1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。（知識）
2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。（技能）
3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。（態度）

スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科は、学部の教育目的の下、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。

1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている
2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる
3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる

卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の各学部 2022 年度入学生</p>
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人日通学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/management/
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/management/
財産目録	ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/management/
事業報告書	ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/management/
監事による監査報告(書)	ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/management/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称: 学校法人日通学園 中期事業計画	対象年度: 2020~2024)
公表方法: https://www.rku.ac.jp/assets/images/about/vision2025.pdf	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ上にて公開 https://www.rku.ac.jp/about/data/inspect/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の経済学部 2022 年度入学生)
(概要) 経済学部では、経済学や経営学の専門知識を基礎に、広い国際的視野と的確な情報処理能力をそなえた教養ある人材の養成を目的とする。 経済学科では、経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材の養成を目的とする。 経営学科では、経営学全般の基礎的理論の修得をはかり、さらに実践的教育をほどこすことを通して現場の多様な課題に対応できるスペシャリストの養成を目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の経済学部 2022 年度入学生)
(概要) 経済学科 経済学科は、学部の教育目的の下、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経済学）の学位を授与する。 1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度 2. 自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度 3. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力 経営学科 経営学科は、学部の教育目的の下、産業がグローバル化する時代に通用する「起業およびマネジメントの実践ができる人材」を育成することを目指しており、学修計画と履修モデルにもとづき、所定の単位を修得し、以下のようなビジネスマネージャーに求められることになる知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与する。 1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる。 2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる。 3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる。 4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める。 5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる。 6. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、および国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
の経済学部 2022 年度入学生)

(概要)

経済学科

経済学科では、ディプロマポリシーにおいて規定されている学位授与の要件である 3 つの能力を持つ人材を効果的に育成できるよう、育成したい能力に対応した、以下のようなカリキュラムを編成し、必要な科目を提供する。

1. 標準的な経済学教育の体系に沿って、基礎から専門まで一貫して学修できる積上げ型のカリキュラムに対応した専門基礎科目、および経済学の発展的知識や経済学に関連する多様な学問領域の専門知識を学修する専門発展科目
 - i) 体系的な経済学を学ぶ起点として、経済学の基礎理論に触れ、現実の経済現象への興味を喚起するための必修科目
 - ii) 経済学の専門的知識を積上げていくために必須となる、共通の知的基盤を形成するための科目
 - iii) 経済学の諸分野を学ぶために必須となる、分野に対応した専門基礎科目
 - iv) 経済学の応用・発展的分野を学ぶために必須となる、専門基礎科目と連動した専門発展科目
2. 周囲とコミュニケーションを図りながら、自ら問題を解決していく知識や能力、態度を身に付けるための演習、語学等の科目
 - i) コミュニケーション能力および課題を発見し解決する能力を育成するための演習
 - ii) 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目
 - iii) 専門分野における知見と実学的な知見を融合し、ビジネスの現場で通用するコミュニケーション能力を高めるための科目
3. 市民社会の一員として必要不可欠な社会規範と教養を身に付け、健全な知的基盤を形成し、生涯学習へと発展させていく科目
 - i) 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目
 - ii) 生涯学習のための基礎的知識と、自己実現に向けた能動的な態度を育成するキャリア関連科目
 - iii) 社会人として必要な幅広い視野を身に付けるための、経済学に関連の深い他の学部、学科の科目

経営学科

経営学科では、産業界が求めているグローバル人材を育成するために、現役の経営幹部・実務者からビジネスの実態を学ぶことや、教養のある人材となることに対応したカリキュラム編成を基本とする。

そのうえで、本学の基本教育方針である全員ゼミ制度を発展させ、専門知識の応用力が発揮できるように、専門学修における理論と実践を統合した 4 年間を一貫する演習（ゼミ）を開講する。

個々の学生と教員の間で、各自の目標を確実に実現すべく、学修方針や履修計画を立案できるようにする。

卒業研究では、報告会や指導演習を通して、グローバル時代に求められる集団適応力と自律した思考や行動を修得できるようにする。

4 年間を一貫する演習（ゼミ）を中心に各科目を配置し、カリキュラムを系統化する。

専門科目として、学生の将来計画に対応すべく、起業やマネジメントに関する科

<p>目群、マーケティングや流通に関する科目群、会計やファイナンスに関する科目群を開講する。以下、具体的な開講科目は次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活にかかわる商品・サービスを事例に実践的に経営の全体像を修得する科目を開講する。 2. 企業の実態に経営学の専門知識を適用し探求する科目を開講する。 3. 教養性と専門性ならびに倫理を総合的に学修する科目を開講する。 4. 専門3科目群の中に専門的知識を深める科目を開講する。 5. 能動的学修や批判的思考を促進するための実習や演習が伴う科目を開講する。 6. 自立する企業人への準備として、研究成果などを発表し、審査を受ける科目を開講する。 7. 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目を開講する。 8. 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目を開講する。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： ホームページ https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)</p>
--

<p>(概要) 概要) 経済学部は、情報化やグローバル化に対応して、経済学及び経営学（会計学）の専門知識のみならず、広い国際的視野と問題解決能力を備えた「グローバルに活躍できる視野の広い実業人」を育成し、社会に送り出すことを教育目標としています。</p> <p>この目標を達成するため、基礎学力がある学生もさることながら、世界の経済社会の動向に関心を持ち、国内外の問題を解決して社会に貢献することに意欲的でチャレンジ精神に富む学生を求めています。経済学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。</p> <p>【知識と理解力】 高等学校で学習する国語、英語、地理歴史、公民、数学などについて、高等学校卒業相当の知識を有し、それらの基本的内容を理解している学生</p> <p>【関心と意欲】 経済活動や企業経営等に関する問題に関心を持ち、大学で学んだ知識や技能を自分の将来や社会に役立てたいという意欲がある学生</p> <p>【共感力と行動力】 経済社会や企業組織が抱える諸問題に共感し、問題解決のために多様な価値観を共有しながら柔軟に対応しようとする姿勢を持っている学生</p> <p>【思考と表現力】 社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生</p> <p>経済学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。</p>

<p>学部等名 社会学部</p>

<p>教育研究上の目的（公表方法： ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf) の社会学部 2022 年度入学生</p>

<p>(概要)</p> <p>社会学部では、社会学的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成を目的とする。</p> <p>社会学科では、産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成を目的とする。</p> <p>国際観光学科では、観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成を目的とする。</p>
--

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
の社会学部 2022 年度入学生)

(概要)

社会学科

社会学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
2. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）

国際観光学科

国際観光学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識、能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に観光を理解する態度
2. 社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識
4. 観光および観光関連産業の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動する態度
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
の社会学部 2022 年度入学生)

(概要)

社会学科

社会学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身につけることができるように社会学の基礎・研究法等の科目を配置する。
2. a) 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目を配置する。
b) 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。
c) 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、情報処理科目を配置する。
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目を配置する。

4. 社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的な知識・技能を身につけることができるように、専門科目（講義）及び実習・演習科目を配置する。
5. コミュニケーション能力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、1年次から4年次まで演習を配置する。また、卒業論文を課すことによって、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。
6. 人間・社会に対する理解を深め、豊かな教養を育むために、他学部・他学科の科目を配置する。

国際観光学科

国際観光学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 主体的に問題を発見し解決する能力を段階的に育成するために、1年次から4年次まで、演習（ゼミ）を配置する。また、4年次には、問題発見、解決過程の論理的な表現として卒業論文を課す。
2. 社会人として幅広い視野を身につけるとともに、専門分野としての観光を体系的に学ぶ基盤を作るために、情報処理科目・教養科目を配置する。
 - a) 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目を配置する。
 - b) 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。
 - c) 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、情報処理科目を配置する。
3. 生涯に渡り、主体的、能動的に生きる姿勢を養うために、キャリア関連科目を配置する。
4. 社会学的方法を基礎に観光を学修するという観点から社会学の基礎科目を、観光を学ぶために基盤となる知識を修得するための基礎科目を置く。
5. 英語によるコミュニケーション能力を高めるために、外国語科目の他に、学科の英語必修科目を配置する。
6. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つのモデルを配置し、それぞれの領域において専門的知識を体系的に学修できる講義科目を配置する。
7. 観光を通じた国際交流、観光産業におけるプロの仕事の体感、地域における観光まちづくりへの参加等、多様な観光に関連する現場での主体的かつ実践的な学修が可能な科目を配置する。
8. 専門分野である観光に対する理解をより深めるために、社会、経済、経営、法学等において関連する科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ

https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/

）

（概要）社会は多様な集団や組織、ネットワークの集合体として成り立っています。現代社会における情報化やグローバル化は個々人の価値観や組織の在り方に変化をもたらすとともに、社会全体の構造の複雑化ももたらしています。社会学部ではこのような社会の在り方を理解し、個々人がより心地よく暮らせる社会へと変革していけるような人材の育成を目指し、「社会的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成」を教育目標として掲げています。この目標を達成するため、広く、人間社会のあり方や人間社会の出来事に着目し、さまざまな社会集団や組織、国や地域の歴史や文化、人間やその関係の在り方、価値観の多様性などについて学びたい学生の入学を期待しています。ただし、基礎学力もさることながら、柔軟な思考力をもって他者と協力し社会に貢献しようとする姿勢を重視

<p>しています。</p> <p>社会学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。</p> <p>【知識と理解力】 高等学校で学習する学科目について、高等学校卒業相当の知識を有している学生</p> <p>【関心と意欲】 人や社会に関わる問題や現象に関心を持ち、人および社会について幅広く学び、必要な技能を身につける意欲を持っている学生</p> <p>【共感力と行動力】 人や社会が抱える諸問題に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生</p> <p>【思考と表現力】 社会のさまざまな問題を多面的かつ総合的に考察し、自分なりの判断を下すことができるとともに、自分の知識や意見を他者に分かりやすく表現することができる学生</p> <p>社会学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。</p>
--

<p>学部等名 流通情報学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の流通情報学部 2022 年度入学生)</p> <p>(概要)</p> <p>流通情報学部では、情報科学と流通科学との有機的統合をはかり、情報社会における流通の高度化に寄与する人材の養成を目的とする。</p> <p>流通情報学科では、ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の流通情報学部 2022 年度入学生)</p> <p>(概要)</p> <p>流通情報学科</p> <p>流通情報学科では、学部の教育目的の下、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能 2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力 3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力 4. 様々な分野で創造性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の流通情報学部 2022 年度入学生)</p>

(概要)

流通情報学科

流通情報学科では、建学の理念に基づく教育理念に則り、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目標にカリキュラムを構成し、4年間を通じて、学ぶことの楽しさや、授業や体験をふまえた知識、教養の段階的な積み上げを実感できる枠組みを用意している。

1. コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を育成するための演習科目と卒業研究を配置し、データサイエンス力を持つ人材の育成の基礎となる科目を配置する。
2. 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目を配置する。
3. 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目を配置する。
4. 生涯学習のための知識と自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア関連科目を配置する。
5. 流通情報学を構成するロジスティクスと情報学の基本概念を修得する専門必修科目を配置する。
6. 流通情報学を構成する流通・物流・情報分野に関する基礎的な知識と技能を修得する専門基礎科目を配置する。
7. 流通・物流・情報分野に関連する実社会を体験し、その現状を理解する専門実践科目を配置する。
8. 流通・物流・情報分野における専門知識と問題発見・解決能力を修得する専門発展科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ

https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/)

(概要) 流通情報学部は、Society5.0 や第4次産業革命など新たな時代の到来に向けて、流通科学および情報科学、さらにそれらの融合領域を含めた流通情報科学の視点から、新たな経済・社会システムのデザインに貢献できる人材を養成することを教育目標としています。

この目標を達成するため、ロジスティクスの考え方を核として、実社会についての幅広い関心を持ち、専門的知識を活かして新たな社会やビジネスのあり方を探究する意欲と、自ら主体的に行動を起こしていく力を有する学生を求めています。

流通情報学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

【知識と理解力】

高等学校で学習する各科目について、高等学校卒業程度の知識を有し、それらの基本的な考え方を修得している学生

【関心と意欲】

流通・情報、さらにそれらの融合領域における課題に関心を持ち、大学で学んだ知識を活かして将来の経済・社会システムのデザインに貢献する意欲がある学生

【共感力と行動力】

社会やビジネスの場における様々な問題に共感し、多様なバックグラウンドや価値観などをもつ他者と協働して柔軟に問題解決を行うことができる学生

【思考と表現力】

流通・情報の分野における専門的知識を核として、社会やビジネスの場における様々な問題について多角的・多面的に考察し、文章やプレゼンテーションなど多様な手段によって自らの意見を他者に対して分かりやすく表現することのできる学生

流通情報学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

学部等名 法学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の法学部 2022 年度入学生)
(概要) 法学部では、法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成を目的とする。 ビジネス法学科では、企業活動における法令遵守や企業統治の現代的意義を深く理解し、ビジネス界で実践できる人材の養成を目的とします。 自治行政学科では、地方自治を担う人材を養成すべく、専門の法律や政治・行政について理解し、地方自治に関わる分野で、法的思考力や政策形成能力を発揮できる人材の養成を目的とします。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf の法学部 2022 年度入学生)
(概要) ビジネス法学科 ビジネス法学科は、学部の教育目的の下、企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）の現代的意義を深く理解し、実社会で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド） 2. 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識 3. グローバル時代に対応した法知識と能力 4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力 5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力 自治行政学科 自治行政学科は、学部の教育目的の下、公務員・NPO 職員等として公共の一翼を担うことのできる人材、および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識 2. 公務員・NPO 職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力 3. 修得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力 4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力 5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
の法学部 2022 年度入学生

（概要）

ビジネス法学科

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすため、ビジネス法学科では以下のような科目を提供します。

1. 法と政治の制度の枠組みを知る科目
2. 法的思考の基礎となる知識を学ぶ科目
3. ビジネス活動に関わる法的知識を学ぶ科目
4. 企業活動における法令遵守・企業統治の実践に必要な知識を学ぶ科目
5. 法とビジネスを深く理解するための背景知識および関連知識を学ぶ科目
6. 企業活動における法的な問題を発見し、解決の筋道を考える能力を身につける科目
7. 対話・討論を通じて自らの思考を表現する能力を身につける科目
8. 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目
9. 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目

自治行政学科

学部の教育目的を達成するとともに、ディプロマポリシーが求める人材養成方針を満たすため、自治行政学科では以下のような科目を提供します。

1. 法と政治の制度の枠組みを知る科目
2. 法的思考・政策形成能力の基礎となる知識を学ぶ科目
3. 地方における公共的な活動に関わる法的・政策的知識を学ぶ科目
4. 地域社会への貢献に必要な知識を学ぶ科目
5. 地域社会のあり方を深く理解するための背景知識および関連知識を学ぶ科目
6. 地方自治・地域社会の課題を発見し、解決の道筋を考える能力を身につける科目
7. 対話・討論を通じて自らの思考を表現する能力を身につける科目
8. 広く社会に貢献できる教養豊かで視野の広い人材の育成に向け、人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める基礎教養科目
9. 国際社会で活躍できる人材の育成に向け、コミュニケーション能力の向上を念頭に置いた外国語科目

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ
https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/

（概要）法学部は、「法律の知識に基づく論理的思考やバランス感覚を身に付け、幅広く奥行きのある教養と人間性をも備えた人材の養成」を教育目標としています。こうした教育目標を十分に達成するため、法学部では、次のような学生を求めています。

【知識と理解力】

法学部の専門科目を学ぶ上で高等学校で学習する基本教科につき十分な基礎学力を有する学生

【関心と意欲】

法律問題や地方自治に関わる問題に関心を持ち、自ら進んでそれらの問題解決に必要な知識や技能を学ぶ意欲を持っている学生

【共感力と行動力】

他者に共感し、問題解決のために他者と協力して行動しようとする姿勢を持っている学生

【思考と表現力】

物事を論理的に考え、自分の意見を他者に分かりやすく表現することができる学生
法学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

学部等名 スポーツ健康科学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
のスポーツ健康科学部 2022 年度入学生 ）

（概要）
スポーツ健康科学部では、スポーツと健康の領域に関して、人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成を目的とする。
スポーツ健康科学科では、スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成を目的とする。
スポーツコミュニケーション学科では、スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
のスポーツ健康科学部 2022 年度入学生 ）

（概要）
スポーツ健康科学科
スポーツ健康科学科は、学部の教育目的の下、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。
1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。（知識）
2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。（技能）
3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。（態度）

スポーツコミュニケーション学科
スポーツコミュニケーション学科は、学部の教育目的の下、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。
1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている
2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる
3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ
https://www2.rku.ac.jp/class/course_summary/mokuji.pdf
のスポーツ健康科学部 2022 年度入学生

（概要）

スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科では、建学の理念に基づく教育理念に則り、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目標にカリキュラムを構成している。

今日の社会事象を鑑みると、スポーツを専門に学んだ学生が社会において活躍する為には、学問を横断的に学ぶ必要がある。従って、特にコースという縛りを設けず、「専門基礎科目」と「専門発展科目」の科目群で、幅広い知識の修得を目指す。具体的な開講科目は次の通りである。

1. 上記で示した人材育成を図る為に、「生命の尊厳」と「人間力」を持った人材の育成を特に重視し、必修科目においてこれらの力を創造していく。またコミュニケーション能力および課題発見・解決能力を育成するため、1 年次から 4 年次まで演習科目を配置する。
2. 国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション能力を育成する科目を配置する。
3. 生涯学習のための基礎的知識と、自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア関連科目を配置する。
4. 人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。
5. 専門基礎科目では、今日、スポーツ科学を構成している学問を幅広く修得させる。
6. 専門発展科目では、発展的かつより専門性を持った科目でカリキュラムを構成する。
7. スポーツの競技力向上を図る科目を配置する。

スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科では、前述した「ディプロマポリシー」等を踏まえて、以下の「カリキュラムポリシー」に則り、科目を区分、構成している。

1. 学部の基盤となるスポーツ健康科学の基礎を学修するために、学部必修科目、学部基礎科目を配置する。
2. 学科の基盤となるスポーツコミュニケーションの基礎を学修するために、学科必修科目と学科基礎科目を配置する。
3. スポーツに関連したコミュニケーションを学修するために、3つの専門領域（マネジメント領域、情報・メディア領域、コーチング領域）を配置する。
4. 学科必修科目や専門発展科目では、課題発見・解決能力、論理的思考力や多様な観点から考察する能力を育むために、演習や実習を重視し、実践を通して体系的に学修できるように年次配当をする。
5. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、総合的な表現力を培うために、外国語科目、キャリア科目、教養基礎科目を配置する。
6. アドベンチャー精神とフォロワーシップ精神を持った人材を養成するために、体育・スポーツ学と「人と人・組織・社会との関係」を中心としたコミュニケーション研究を関連付けて学修できるように、ゼミや学科基礎科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ
https://www.rku.ac.jp/admissions/admission_policy/

(概要) スポーツ健康科学部は、「人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成」を教育目標として掲げています。

この目標を達成するため、スポーツを基点とする実践から導き出した知恵と専門的知識を活用して、より良い社会の創出に貢献したいという強い思いを持つ学生を求めています。

スポーツ健康科学部が具体的に求める学生像は、以下のとおりです。

【知識と理解力】
 体育および保健に限らず高等学校で学習する教科において、高等学校卒業相当の知識や技能を有している学生

【関心と意欲】
 スポーツと健康の領域に関心を寄せつつ、同領域での多様な経験と専門知識をもって諸問題を解決したいという意欲を持ち、そして自らの価値を高めたいという志を持つ学生

【共感力と行動力】
 多様性を尊重しながら、何事にも積極的にチャレンジし続けることができる学生

【思考と表現力】
 多様で複雑な事象を複数の視点から捉え、そうした視点から導き出した自らの考えを他者にわかりやすく伝えることを心がけている学生

スポーツ健康科学部は、上記の具体的に求める学生像に対応して、多様な選抜方法として、学校推薦型選抜、総合型選抜、一般選抜、そして、大学入学共通テスト利用型選抜を導入し、入学試験を行っています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにて公表
<https://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	5人	—					5人
経済学部	—	22人	12人	4人	0人	0人	38人
社会学部	—	15人	11人	1人	1人	0人	28人
流通情報学部	—	15人	4人	2人	1人	0人	22人
法学部	—	15人	6人	2人	3人	0人	26人
スポーツ健康科学部	—	19人	14人	1人	4人	0人	38人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		210人				210人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表 https://www.rku.ac.jp/faculty/professors/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
2022.03	2021年度	新任教員のフォローアップ研修会					
2022.03	2021年度	第2回全学科一斉FD研修会					
2022.01	2021年度	秋学期授業アンケート					
2021.09	2021年度	第1回全学科一斉FD研修会					
2021.08	2021年度	学外FD研修および本学での取り組み事例の発表					
2021.07	2021年度	春学期授業アンケート					
2021.02	2020年度	第2回全学科一斉FD研修会					

2021.01	2020年度	秋学期授業アンケート
2020.12	2020年度	オンライン授業の充実化を目的としたオープン授業（教員相互の授業参観）
2020.09	2020年度	学外FD研修および本学での取り組み事例の発表
2020.07	2020年度	春学期授業アンケート
2020.07	2020年度	第1回全学科一斉FD研修会
2020.02	2019年度	第2回全学科一斉FD研修会
2020.01	2019年度	秋学期授業アンケート
2019.09	2019年度	新任教員のフォローアップ研修会
2019.09	2019年度	学外FD研修および本学での取り組み事例の発表
2019.07	2019年度	第1回全学科一斉FD研修会
2019.07	2019年度	春学期授業アンケート

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	370人	382人	103.2%	1,480人	1,613人	109.0%	0人	1人
社会学部	250人	158人	63.2%	1,040人	942人	90.6%	20人	1人
流通情報学部	130人	106人	81.5%	520人	545人	104.8%	0人	0人
法学部	200人	177人	88.5%	840人	825人	98.2%	20人	1人
スポーツ健康科学部	300人	339人	113.0%	1,200人	1,236人	103.0%	0人	0人
合計	1250人	1162人	93.0%	5,080人	5,161人	105.7%	40人	3人

(備考)
経済学部、流通情報学部、スポーツ健康科学部の編入学定員は若干名。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	345人 (100%)	0人 (%)	291人 (84.3%)	54人 (15.7%)
社会学部	231人 (100%)	1人 (0.4%)	182人 (78.8%)	48人 (20.8%)
流通情報学部	138人 (100%)	5人 (3.6%)	110人 (79.7%)	23人 (16.7%)
法学部	217人 (100%)	1人 (0.5%)	186人 (85.7%)	30人 (13.8%)
スポーツ健康科学部	287人 (100%)	6人 (2.1%)	262人 (91.3%)	19人 (6.6%)
合計	1218人 (100%)	13人 (1.1%)	1031人 (84.6%)	174人 (14.3%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
日本通運(株)、NX商事(株)、清水建設(株)、龍ヶ崎市役所、独立行政法人国立病院機構 他

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)の作成について、教員に1月末から2月末までインターネットを利用して、シラバス入稿を依頼している。</p> <p>また、授業計画(シラバス)の公開は、学生の履修登録前の3月中旬に実施している。各学部とも同様の取扱いをしている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>学修の成果に係る評価について、各学生の学修成果に基づき、試験の結果やレポートの内容などに基づいて学修成果を判定している。</p> <p>また、学修成果に基づき、成績[合格 S(90点以上)、A(80~89点)、B(70~79点)、C(60~69点)、不合格 D(59点以下)、/(評価不能)]を判定している。</p> <p>シラバスに記載した「成績評価の方法」により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p> <p>各学部とも同様の取扱いをしている。</p> <p>卒業又は修了の認定に当たっての基準について、各学部学科のディプロマポリシーは、下記の通りです。</p> <p>なお、全学部全学科とも、4年以上在学し、卒業判定で卒業に必要な所定の単位(124単位以上)を修得した学生は、卒業となる。</p>
経済学部経済学科
<p>経済学科は、学部の教育目的の下、「経済・社会情勢を的確に見極めるための基礎知識を持ち、実践の場においてこれを応用できる人材を養成」することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(経済学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学の理論と現実の経済をバランスよく学習し、それにもとづいて課題に対応していく知識や能力、態度 2. 自分で考え、周囲の人と意思の疎通を図りながら、問題を解決していく知識や能力、態度 3. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

経済学部経営学科

経営学科は、学部の教育目的の下、産業がグローバル化する時代に通用する「起業およびマネジメントの実践ができる人材」を育成することを目指しており、学修計画と履修モデルにもとづき、所定の単位を修得し、以下のようなビジネスマネージャーに求められることになる知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与する。

1. 新しい商品やサービスのイノベーション特性を抽出できる。
2. 営利または非営利の組織の一員として専門知識を適用し職務を遂行できる。
3. 多様で異なる価値観、役割および職種の顧客や同僚と協働できる。
4. 経営計画、商品開発や経営分析において自主的に取り組める。
5. 企業人として成果を追求しながら、社会人として継続的に学習できる。
6. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、および国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力を有する。

社会学部社会学科

社会学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
2. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）

社会学部国際観光学科

国際観光学科は、学部の教育目的の下、所定の単位を修得し、以下のような知識、能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学的方法を基盤として実証的ないし実践的に観光を理解する態度
2. 社会の多様性を背景とした、英語コミュニケーション能力または多角的な思考能力
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つまたは複数についての、専門的かつ実践的な知識
4. 観光および観光関連産業の現場やその他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動する態度
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

流通情報学部流通情報学科

流通情報学科では、学部の教育目的の下、「ロジスティクスの考え方を核として、広い視野を持って経済・社会システムをデザインすることができる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（流通情報学）の学位を授与する。

1. 流通・物流・情報の学際領域である流通情報学に関する幅広い知識と技能

2. 理論のみならず、様々な実践的な講座により培われる職務遂行能力
3. 流通情報学に関する知識や技能に基づく問題発見・解決能力
4. 様々な分野で創造性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

法学部ビジネス法学科

ビジネス法学科は、学部の教育目的の下、企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）の現代的意義を深く理解し、実社会で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. さまざまな問題の解決に必要な法的思考能力（リーガル・マインド）
2. 企業活動における法令遵守（コンプライアンス）や企業統治（コーポレート・ガバナンス）に関する知識
3. グローバル時代に対応した法知識と能力
4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

法学部自治行政学科

自治行政学科は、学部の教育目的の下、公務員・NPO職員等として公共の一翼を担うことのできる人材、および地方自治に関わるさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（法学）の学位を授与します。

1. 地方自治の発展、地域社会の活性化、住みよいまちづくりに関する知識
2. 公務員・NPO職員等として、行政その他公共の一翼を担うことのできる法的思考能力・政策形成能力
3. 修得した知識を活用し、地方自治や地域社会に関わるさまざまな分野で活躍できる能力
4. 専門知識やそれに基づく考察を適切に表現し、対話・討論を行う能力
5. 様々な分野で創造性と人間性を発揮し、広く社会に貢献できる豊かな教養、そして国際社会で活躍するために必要な外国語によるコミュニケーション能力

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科

スポーツ健康科学科は、学部の教育目的の下、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。

1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。（知識）
2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。（技能）
3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。（態度）

スポーツ健康科学部スポーツコミュニケーション学科

スポーツコミュニケーション学科は、学部の教育目的の下、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以

<p>下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている 2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる 3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる 				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	経営学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
社会学部	社会学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	国際観光学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
流通情報学部	流通情報学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
法学部	ビジネス法学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	自治行政学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
	スポーツコミュニケーション学科	124 単位	⑦・無	1・2 学年 44 単位 3・4 学年 49 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにて公表

<https://www.rku.ac.jp/campuslife/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済	経済 経営	782,000 円	308,000 円	206,000 円	施設拡充費 178,000 円 実験実習費 8,000 円 課外活動振興費 20,000 円
社会	社会 国際観光				
流通情報	流通情報				
法	ビジネス法 自治行政				
スポーツ 健康科	スポーツ 健康科 スポーツ コミュニケーション	782,000 円	308,000 円	356,000 円	施設拡充費 284,000 円 実験実習費 52,000 円 課外活動振興費 20,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>教育学習支援センターにおける取組【HP 抜粋】</p> <p>初年次教育</p> <p>入学式後から始まる導入教育「RKU WEEK」。ガイダンスやゼミ仲間との顔合わせ、先輩との交流企画を通して、楽しみながら大学に慣れていきます。先生や先輩が履修やキャリアプランニングの相談にものってくれるので、どんどん質問してみよう。</p> <p>学習の支援</p> <p>授業の不明点や高校時に理解できなかった科目を放っておくと、勉強の「つまずき」につながります。そこで苦手の早期解決のため、「修学基礎講座」を開設しています。また、欠席を続ける学生のフォローや、教員と連携して学生の悩みについて話し合うなど、ケアに努めています。</p> <p>教育の支援</p> <p>ゼミは一般的な授業よりも教員や他の学生との距離が近く、他者との交流を学ぶ「小さな社会」です。また、ゼミの担当教員は一人ひとりの学生としっかり向き合うため、授業でわからないことや進路のことなどにも親身になって相談にのってくれます。</p> <p>学生の支援</p> <p>大学にはさまざまな専門を持った教員がいます。教員たちが身近な話題や時事問題などを専門的な切り口から分かりやすく解説します。普段の講義と違い、カフェの雰囲気気分で気楽な感じで行っています。</p> <p>また、大学生活の中で、学びと同様に重要なのが他者とのコミュニケーションです。そこで、学部や学年を問わない交流を実現するためのさまざまなイベントを実施しています。積極的に参加して、楽しく交流の輪を広げよう。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>2021 年度は、まだまだコロナ禍の影響は収まらず、対面での就職指導が大きな制約を受ける中で、就職活動支援の難しさを認識しました。4 年生に対しては個別の就職指導に力を入れ、かつオンライン WEB 学内合同企業説明会を通年開催し、年度末まで幅広い支援を継続しました。3 年生に対してはクラウド型教育支援サービス (manaba) を活用し、履歴書・エントリーシートへの添削などを行い、就職活動準備に支障のないよう工夫しました。</p>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

【学生相談室】

学生相談室では、学業のこと、クラブ・サークルのこと、進路や就職、友達・家族・異性との人間関係、身体的なことや自分の性格のことなど、臨床心理士資格を有する学生相談員がお話をうかがいながら、一緒に問題解決にあたっています。

【保健室】

保健室では、校医による「健康相談」をおこなっています（一人暮らしの食生活、健康管理やダイエットについてなどのアドバイスをしています）。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：図書館ホームページ内流通経済大学学術情報リポジトリにて公表

<https://rku.repo.nii.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F108310101465
学校名	流通経済大学
設置者名	学校法人 日通学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		461人	450人	482人
内 訳	第Ⅰ区分	265人	255人	
	第Ⅱ区分	128人	128人	
	第Ⅲ区分	68人	67人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				482人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	28人		
計	35人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	1人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
GPA等が下位4分の1	99人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—		
計	108人		
			0

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。